



大分MSW広報誌

Vol. 38

<発行元>

大分県医療ソーシャルワーカー協会

平成24年9月7日発行

医療ソーシャルワーカーのこれから

■大分県医療ソーシャルワーカー協会 副会長 甲斐 亮太

早いもので、私が医療現場で働き始めて20年、MSWを拝命してからは15年目になります。就職当時は医事課の配属で、レセプト業務の傍らでたまに医療費の相談に乗る事務職員という立場であり、窓口に来るクライアントが気になりながらも社会資源に明るいベテラン職員が対応する事にジレンマを感じる日々。平成10年に医療福祉相談室を開設・MSWを拝命した際「相談を受けるのは専門職のMSWです」と明言できる立場になった事が何よりも嬉しかった事を思い出します。ただ、当時は「MSWは在院日数短縮に有効である」という風潮の中で配置された感も否めません。必然的に退院調整を主としてその成果を求められており、時には「MSWが関わると退院が延びる」という理由で介入を阻まれた事もありました。退院をほんの数日延ばしてでも解決すべき課題がある…という事さえ聞き入れられない。組織内でのMSWとしてのポジショニングの弱さを痛切に感じ、組織への貢献を果たしながらバランス良くアプローチする術を学びました。

振り返って今、昨今の地域包括ケアシステムに関わる論議、医療計画、これらを鑑みた際に「地域社会におけるMSWの社会的認知度はまだまだ高くない」という印象が拭えません。「チーム医療」や「連携」といったキーワードは、全ての専門職能団体が掲げるテーマです。これからの医療・福祉行政の流れ如何では他職種が台頭してもおかしくなく、10年後・20年後『医療ソーシャルワーカーの存在は必要不可欠である』と、社会・地域・組織から求められる存在である為に、私たちMSWは今一度「MSWの専門性とは何か」という基本に立ち返りながら、着実に取り組む必要があると考えます。

大分県MSW協会は、野上会長を先頭に、県の委員会や各種協議会などに参加を行い、MSWの社会的認知度向上の為に取り組みや発言・発信を続けております。協会の活動は会員の皆様の未来の為に活動です。本年度、研修部が企画した研修体制は、新人・中堅・ベテランといった、経験年数に関係なく全ての会員が専門性を高める為に取り組める環境の提供でした。この様な取り組みは今後も継続されると思います。協会は、会員の皆様に参加頂いてこそ、地域社会や公的機関に存在を発信する事が可能となります。MSWの社会的認知度向上の為に、協会は全力で取り組みます。会員の皆様も今まで以上に協会活動への積極的参加をお願い致します。

新入会者の紹介 (H24.6~H24.8)

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 🌿 佐藤 有香 (大分岡病院 医療福祉支援部) | 🌿 田淵 美香 (村上記念病院 医療相談室) |
| 🌿 福田 里砂 (大分記念病院 医療福祉相談室) | 🌿 仲島 愛 (メディケア別府) |
| 🌿 秋吉 悠美 (メディケア別府) | 🌿 田代 佳代 |
| 🌿 佐藤 由香 (西別府病院 地域医療連携室) | 🌿 清水 佐知子 (仁医会病院) |

<入会順>

第1回 地域情報交換会 ～県南地区～

◆ネットワーク推進部理事 脇坂 健史

今年度のネットワーク推進部の取り組みのひとつでもある地域情報交換会を6月28日に佐伯市で開催しました。

第1回目となる今回は、臼杵・津久見・佐伯3市で勤務されているMSWやPSW、老健や行政機関の相談員22名の方が参加して下さいました。

業務上の連携の枠を超えて、お酒も入り楽しい雰囲気の中、多くの情報交換やお互いの悩みなどを語り合うことができ、本当に充実した素敵な時間になりました。

私たちの業務の中で、「ネットワーク構築」は最も大切な仕事のひとつだと認識しています。会議から親睦会まで、そのスタイルはさまざまですが、当部会は今回のように、参加者の皆様が顔を見て思いをぶつけ合える機会が持てたことを嬉しく思いますし、参加して下さいました皆様へ改めて感謝申し上げます。今年度あと2回開催する予定ですので、お近くである時には是非参加して下さいね！



研修会報告

<初任者研修 6月9日～6月10日>

◆医療法人社団 仁泉会 介護老人保健施設 メディケア別府
支援相談員 秋吉 悠美

今回参加させていただいた初任者研修は、歩き出したばかりの私たちにとって、得る物の多い研修でした。講義では、ソーシャルワーカーの役割が確立されるまでに、先人の方々がどのような足跡を辿ってきたのかを知り、様々な知識を持つことの重要性、そして、利用者様を取り巻く社会作りまでを視野に入れて支援していかなければならないという、専門職としての価値について学ぶことができました。その他にも、他職種との連携や視点の違いなどについても学びました。

不安を多く抱えながらの毎日ですが、このような研修を受けることで自分に出来ていないことを認識する事ができました。これから直面していく1つ1つのケースについて学び、経験を身に付け、今回の研修内容を振り返りながら、1歩ずつ前に進んで行ければと思います。

また、懇親会ではたくさんの先輩方や同じ初任者の方々との交流ができ、貴重な時間を過ごすことができました。参加させていただき、ありがとうございました。

<ステップアップ研修I 7月15日>

◆大分赤十字病院 徳丸 茂史

昨年の受講者より片岡先生の講義の評判を聞いていたので、今年は受講を楽しみにしていました。ワークショップ形式で行われた先生の研修は期待通りで、時間があっという間に過ぎて行きました。受講者の中には大学時代に先生のゼミに所属していた方や先生の講義を受けたことのある方もいて、羨ましい限りでした。

研修は、大きく分けて、「アセスメント」「ナラティブアプローチ」「虐待」の順で進んで行きました。なかでも私が特に印象に残ったのは、「ナラティブアプローチ」の講義でした。先生は、一見難しそうなこのテーマを具体的な事例をもとにわかりやすく話して下さいました。ナラティブアプローチとは、起きている問題を一連の「ナラティブ(=物語)」として捉え、「問題を外在化する」アプローチ法で、当事者自身のストーリーを自分以外の別の視点から、三人称(彼や彼女)で語ってみる、つまり自分のことを対象化することで、問題が当事者から切り離され、解決に向かうエンパワメントとなる、というものでした。これは、例えば、認知症高齢者の問題行動に対応する際等、様々な場面で活用できそうだと感じました。

先生は、現在の教職にお就きになるまでは、京都の病院でMSWとして実務をされてきたということで、一つ一つの事例がとても生々しく説得力のあるもので、今後の私たちの実務で参考になるものばかりでした。次回また先生の講義を聞ける機会があれば、是非参加したいと思っています。

初任者研修



ステップアップ研修 I



終了後森先生と記念撮影 (リーダーシップ研修)



グループワーク (リーダーシップ研修)



<リーダーシップ研修 I 8月19日>

◆佐伯中央病院 中村 賢介

今回から10年以上の経験者向けに初めて「リーダーシップ研修」が開催されました。「チーム医療のリーダーとしてソーシャルワーカーに求められるもの」をテーマに、湯布院厚生年金病院病院長である森照明先生をお招きして講義を受け、後半はグループワーク形式で学びました。今の自分たちに何が足りないのか、そして何に取り組んでいけばよいのか、各グループで課題・展望・対策・具体的取り組みを検討しました。その中でMSWは調整する能力は長けているが、MSW自身が主張しきれていないとの意見には、ハッとさせられました。

森先生からも、組織内外にて「発表する」「質問する」などといったMSWの「アピール力」を高めること、MSWは縁の下力もちとして活躍していることは素晴らしいが、それだけではなくどンドン前に行って欲しいといった激励もいただきました。医療と福祉を両方において知識・技術を持っていることを最大限に生かすことが、チーム医療の中で専門性を発揮する能力の一つとして認識することができました。

このリーダーシップ研修は、2部構成となっていて10月に「リーダーシップ研修II」が開催される予定となっています。今までにはない研修となっていますので、対象の方は是非ご参加しませんか？

研 修 会 等 案 内

研 修 名	開 催 日 時	対 象
ステップアップ研修II	※延期になりました	経験年数2～5年
リーダーシップ研修II	平成24年10月28日(日)	経験年数10年以上または医療機関でリーダー業務を行う者(主任、課長、事務長等)
スーパービジョン研修	平成24年11月11日(日)	経験年数5～15年
九州ソーシャルワーク研修会	平成24年11月17日～18日	

申し込み方法等詳しくは、研修部発行の2012年研修案内またはホームページにてご確認ください。

理 事 会 便 り

- 理事会報告事項
- 2012.6/2 実習指導者養成研修 (大分県ニューライフプラザ)
 - 6/9.10 初任者研修 (全労災 ソレイユ)
 - 6/16 実習指導者養成研修 (大分県ニューライフプラザ)
 - 6/22 県南地区地域情報交換会 (佐伯市)
 - 6/27 第三回 理事会 (別府リハビリテーションセンター)
 - 6/30 実習指導者養成研修 (大分県ニューライフプラザ)
 - 7/15 ステップアップ研修 (別府ビーコンプラザ)
 - 7/28 実習指導者養成研修 (大分県ニューライフプラザ)
 - 8/19 リーダーシップ研修 (別府ビーコンプラザ)
 - 8/29 第4回 理事会 (別府リハビリテーションセンター)



<主な議題>

- ・事務局報告 [6, 7, 8月新規入会8名・脱会者なし]
- ・会費未納者への納入催促
- ・協会の法人化について
- ・各部会の活動報告 研修部、学術部、広報部、ネットワーク推進部

○理事役員動向

- 6/3 だーWINのたまご 援助者研修講師 (アイネス) 野上
- 6/19 大分県理学療法士研修会講師 (新別府病院) 野上
- 6/19 地域リハビリテーション研究会 (井野辺病院) 割石
- 6/26 医療安全接遇研修会 (別府リハビリテーションセンター) 野上
- 6/28 大分県保険医団体協議会 (大分赤十字病院) 川野、吉賀
- 7/21 大分難病研究会世話人代表 (全労災 ソレイユ) 佐藤
- 7/21.22 全国会長会議 (東京) 野上
- 7/29 大分県看護協会対人援助スキル研修会講師 (大分県看護師協会会館) 野上
- 7/30 大分県地域リハビリテーション研究会 (井野辺病院) 割石
- 8/2 大分大学社会福祉講座 (大分大学) 甲斐
- 8/3 リレーフォーライフ キャプテン会 (三愛病院) 脇坂
- 8/9 大分県保険医団体協議会 (大分赤十字病院) 甲斐、吉賀
- 8/19 大分大学社会福祉講座 (大分大学) 甲斐
- 8/27 大分県地域リハビリテーション研究会 (井野辺病院) 割石



SWのうまいもん・みたもんのコーナー第5回

(佐賀関病院 工藤MSW)

大分市佐賀関はパンパシフィック・カップー佐賀関製錬所の大煙突や晴れた日には四国を望むことのできるとも風光明媚な場所です。また、佐賀関といえば関アジ・関サバに代表される海の幸が有名ですが、「唐揚げ」やクロメ入りのソースのかかった「クロメたこ焼き」等もおススメです。

しかし、私が特にお勧めするのは「関のうす焼き」です！薄い生地の上にキャベツ、麺と煮込んだ牛スジをのせたハーモニーが最高で、さらに「ニンニク醤油」を塗ると非常に味わい深くなり、絶品です！値段もリーズナブルですので、佐賀関へお立ち寄りの際には是非ご賞味を!!



■ 事務局

大分県臼杵市大字戸室長谷 1131 番地 1
(臼杵市医師会コスモス病院 地域医療福祉連携室内)

TEL 0972-62-5883

FAX 0972-62-8404

URL <http://oita-msw.com/>

Mail oita-msw@oita-msw.com